



特定非営利活動法人キドックス 年次報告書2016

犬と共に踏み出す一歩

KIDOGS





キドックスの目指す社会

子ども・若者が自ら学び考えて行動し、
主体的に自分の人生を生きることができる、
犬が犬らしく人間社会の中で生きることができる、
“人がその人らしく”
“犬がその仔らしく”
心身豊かに生きられる社会を目指します。



キドックスの社会での役割

“若者が社会で自立するための基礎力を身につける教育機会”
“犬が人の社会で幸せに暮らすための教育機会”
の2つを同時につくることで、
双方に価値のある「ドッグ・プログラム」
を提供します。



2016年度を振り返って 代表理事 上山琴美

2016年度は、これまで行ってきたプログラムだけではアプローチできていない引きこもり状態にある若者たちへ新たなプログラムをスタッフ間で何度も検討し、「訪問」や「ゆるボラ」などの新しいプログラムを立ち上げ、これまで単発の関わりのみで疎遠だった若者たちとの関わりも深めることができました。中盤からは中間的就労プログラム「イヌモク工房」を開始し、3名の若者が就労体験として事業所内での仕事を担ってくれています。

このように、それぞれの若者の心身の段階の合わせて徐々にステップアップできるようにプログラム全体を細かく作り込むことができた1年間でした。

一方で保護犬についても、選定テストやトレーニング内容のシステムの見直しや、脱走などの危機管理体制やルールの強化を行い、安全面を確保しながらトレーニングの質をあげる環境作りを行いました。プログラムのノウハウや事例が多くなり、2016年度後半は講演会や施設見学などの依頼をととても多くいただくようになりました。

2017年度は、これまでのノウハウを活かして、障害福祉サービスの「就労移行支援」「就労継続支援B型」の事業を開始し、これまでサービスが提供できていなかった貧困状態にあるご家庭に対しても良質な就労支援の環境を整えていきます。現行の福祉制度の枠に入れる方は上記の事業を利用いただき、それ以外のグレーゾーンにいる若者はこれまで行ってきた自主事業を利用いただく予定です。

若者たちが主体的に保護犬のトレーニングや信頼関係作りに励む環境を整えることで、それらがすべて保護犬にも還元されることを確信しています。

私たちが目指すのは、「人がその人らしく」「犬がその仔らしく」心身豊かに生きられる社会です。若者一人一人、保護犬一頭一頭の心に寄り添えているのか？彼らにとっての幸せとは何か？彼らにとって生きるとはどういうことか？私も常に自問自答しながら、2017年度も引き続き邁進していきます！今後ともキドックスをどうぞよろしく願いいたします。





Contents

P6-7	若者自立支援ドッグプログラム事業
P8	事業基盤強化・ドッグプログラム啓発事業
p9-12	昨年度の振り返りと今後の目標
P13	実績一覧
P14	ご寄付者様
P15	団体概要・沿革・提携動物保護団体様
P16-18	会計報告
P19	ご支援のお願い





若者自立支援ドッグプログラム事業

自立を目指す若者と保護犬が 社会へ再出発できることを目指して



社会での居場所が見つからずに自立に悩む若者達が日本にはたくさんいます。一方で、飼い主に捨てられて殺処分されてしまう犬たちもたくさんいます。私たちは双方が共に助け合い一歩踏み出すための機会を提供し、若者の自立と保護犬の里親家庭への譲渡を目指しています。

2016年度概要



若者編

新たなプログラムが開始

- ・クラフトプログラム
- ・訪問プログラム
- ・ゆるボラ
- ・中間的就労「イヌモク工房」



支援や情報が行き届いていない利用者へのアプローチ事業として、新たに訪問支援、短時間ボランティアプログラムを企画検討し、開始しました。またご本人への直接支援が難しい場合に、ご家族への支援プログラムとしてクラフトを企画検討し、開始しました。

2016年10月～中間的就労のプログラム「イヌモク工房」を開始させ、上記をすべて統合し、若者の心身の段階に合わせて徐々にステップアップできるよう、「クラフト・訪問→ゆるボラ→いぬのいえ→イヌモク工房→一般就労・進学」という流れを作りました（中央ろうきん若者応援ファンド2016による助成事業）。

他にも危機管理体制の見直しを行い、ヒヤリハットや朝礼時共有事項等をプログラムに組み込みました。



日常のプログラム以外にも、 様々な取り組みに挑戦しました！

- ・交流イベント「おもてなし会」
みんなでソーセージ作りや燻製、山登りなど楽しい交流イベントを行いました。
- ・老人ホームへセラピードッグ訪問
- ・犬の譲渡会の実施
- ・チャリティグッズの製作、販売
若者自身が企画した商品を製作しイベントで販売しました。
- ・ボラバイト（＝研修手当がでる軽作業）
企業様から内職作業をご依頼いただき職業体験として作業を行いました。
- ・季節のワークショップ
外部の講師の方のご好意で、クリスマスリースワークショップや生け花ワークショップを行いました。
- ・フォスターアカデミー
クリステル財団様主催のフォスターアカデミーをキドックスにて実施しました。



保護犬編

新たにプログラムへ参加する保護犬の導入テストの内容の見直しを行い、テスト時～プログラム実行時において事故を未然に防ぐ体制を強化しました。

犬専用ルールを作り、利用者・職員間での共有、ルールの張り出しを行いました。

保護犬のアセスメントシートの内容の修正と、実行体制を改善に取り組みました。

壊れて脱走が危険な旧ドッグランの撤去と、新しいドッグランの立て直しを行いました（大好きいばらき地方創生応援事業による助成事業）。ドッグシェルター化については、助成金を申請し翌年の活動事業として取得することができました。



若者自立支援ドッグプログラム事業

2016年度実績



2016年度に実施した活動とその実施回数、利用者数の合計です。
 ※利用者数は、個人を1としてカウントしていますので同じ人が2回利用しても1カウントになっています。



活動カテゴリ	実施回数(回)	利用者合計(人)
自立支援いぬのいえ	196	19
就労支援イヌモク	20	3
フリースペース	12	不特定多数
お手紙会員	42	9
交流イベント	3	42
セラピードッグ訪問	4	200
ひきこもり相談員/事例検討会/地域連携会議	8	7
犬の譲渡会	2	不特定多数
特別講座	2	11



2016年度の「いぬのいえ」の利用者数と犬の頭数です。

人	総利用者数	19
	定期利用者数	6
	延利用者数	552
	進路決定者数	1
	進路決定率(%)	17%
犬	総トレーニング数	6
	総譲渡数	2



2013年5月1日～2017年3月31日までの約3年間の集計です。

人	総利用者数	74
	定期利用者数	16
	延利用者数	1619
	進路決定者数	9
	進路決定率(%)	56%
犬	総トレーニング数	18
	総譲渡数	14

※年度別集計のため、プログラム成果にタイムラグが生じるため
 (例えばプログラム参加した翌年に就労決定等) 過去の年度も含めた集計を掲載しています。

2017年度目標



プログラムの質と成果の向上 若者編

- ・ 現行の若者自立支援プログラムの一連の流れ(親支援～ボランティア活動～就労支援まで)のコンテンツや支援内容を改善し、充実する
- ・ これまで支援ができていなかった貧困家庭への事業提供を行えるように、障害福祉サービス(就労移行支援、就労継続支援B型)を開始する(※自主事業と並行して行える体制を整える)

プログラムの質と成果の向上 保護犬編

- ・ ドッグシェルター化の検討(財源から運営体制、トレーニングシステムまで全て含めて)
- ・ 譲渡促進(差別化をはかる広報方法の検討、譲渡会への定期参加)
- ・ 茨城県動物指導センターや動物保護団体との連携を図る





事業基盤強化・ドッグプログラム啓発事業

社会に価値ある成果を出せる“継続的な組織”を、
日本中に作るために

自立に悩む日本中の若者たち、殺処分されてしまう日本中の犬たち、彼らを各々の地域で守り育てていけるように、継続して事業を行い成果を出していける組織基盤作りと、ドッグプログラムが様々な地域でも適切に運営されるよう活動して行きます。

2016年度概要



収入財源の強化

チャリティグッズ工房で、新規商品の製作とイベント出展での物販を行いました。

助成金は2件取得し、1つは新しいドッグラン作り（茨城県大好きいばらき地方創生応援事業）を行い、もう1つは施設の改築（ウッドデッキや水道や電気設備など）やドッグシェルター設備等を行う助成金を取得しました（後者は2017年度に実行予定。JT NPO 助成事業2017）。



支援員の人材育成

資格取得の支援を行い、1名がキャリアコンサルタントを取得、1名が産業カウンセラー取得しました。

月1回の成果進捗確認ミーティングと、月2回のプログラムのケース検討を行う会議を実施しました。また、9月には職員の合宿を行い、ビジョン共有、目標設定、クレドの作成などを行いました。



キドックス書籍が発売

内容紹介

『ドッグ・シェルター 犬と少年たちの再出航(たびだち)』を読み、強く共感した上山琴美さんはジョアンに教を請いにアメリカに飛ぶ。帰国後、日本の若者たちの自立支援にプーチの手法を使い、捨て犬たちの命をも救っていく。そして犬たちは、社会から離れてしまった若者たちに、再び光のなかへ第一歩を踏み出させていく。



- ・キドックスから直接ご購入いただくと、本の売上の20%が寄付になります。
 - ・全国書店でお買い求めいただくと、本の売上の1%が寄付になります。
- キドックスから直接ご購入いただける場合題名に「書籍の購入」と記入のうえキドックス事務局宛 (info@kidoqs.org) までメールにてご連絡ください！

2016年度実績

飼い主啓発活動/動物保護団体のサポート活動	5	106
講演会	7	238
取材・見学対応	毎月随時	45
啓発イベント/交流会等	4	不特定多数
ファミリー会員	随時	12

2017年度目標



チャリティグッズ工房での自主事業の拡大と運営システム作り、イベント出展での物販



障害福祉サービスの事業運営を安定化する（利用者さまへの広報など）



定期的なスタッフ研修プログラムの充実（月1回の成果ミーティング、月2回のケースワーク会議でスタッフ個人の能力を高め、組織の目標を共有する）



プログラムへ参加した若者による作文

2016年度の振り返りと今後の目標

プログラムへ参加した若者の中から数名をお願いをして、昨年度の振り返りと今後の目標を書いてもらいました。

「将来に向け一歩ふみだすことを決めた」Aさん

また一年が経ち、担当犬と共に色々な経験をしました。

来客の方にトレーニングの協力をお願いするのにほとんど緊張しなくなり、セラピー訪問ではお年寄りの方々と話せるようになってきました。ヤマの人慣れでは会話の練習を、一般道を散歩するトレーニングでは体力づくりもでき、ヤマと一緒に私も成長することができました。

そして今回、将来に向け一歩ふみだすことを決めました。それは面接の練習をすることです。目標はアルバイトをすることなのですが、人目を気にし、人前で何かをするのが苦手な私は、面接どころか練習ですら怖いという状態です。なので、とても小さい一歩になりますが、面接の練習よりも前の段階、「己を知ること」や「履歴書の書き方」を勉強してから挑むことになりました。時間はかかってしまいますが、いずれはアルバイトができるようにがんばりたいと思います。

「就労体験プログラムにチャレンジをしてみることにした」Sさん

去年はアルバイトに挑戦しましたが、自分にとって合わない仕事内容と人間関係のストレスに耐え切れず体調を崩したため、アルバイトを数週間で辞めてしまいました。その後、しばらく休んでいたため身体の方は良くなりましたが、精神的なダメージが大きくしばらくは元気がないまま半年ぐらいキドックスで活動していました。どうしたら前に進む気力を取り戻せるのだろうか悩んでいたところ、キドックスでイヌモク工房という就労体験ができるプログラムが始まりました。仕事と同じような立場でキドックスに活動することができるということが今の自分の状態に合っていると思ったのですが、体調を崩す可能性を考慮して一ヶ月くらい迷っていました。悩んだ末、仕事を通してかかる人間関係のストレスが自分の課題であるということと、今の状態では就職したときにかかるストレスに対して耐える自信がないという結論に達し、とりあえずチャレンジをしてみることにしました。イヌモク工房で活動した始めは、身体にかかる疲労とストレスで体調を崩しがちでした。でも同時に、いぬのいえの活動では得られない経験をできることにやりがいも感じました。今では、イヌモク工房で活動したことで、様々なことに対して自信がついてきたように感じます。今後の目標は、就職したときに自分が望む職場との人間関係づくりや仕事でのストレスに対する解消の仕方をどうやるのかという課題に対して向き合っていきたいです。まだまだ人間関係の悩みがたくさんありますが、一步一步、課題を乗り越えていけたら良いなと思います。



犬と共に踏み出す一歩

KIDOGS



プログラムへ参加した若者による作文

「最初は戸惑ったが今ではお互い楽しく過ごせている」Sさん

この1年、キドックスに来て、沢山の保護犬に出会いました。犬も1頭1頭違い、それぞれに個性があることを知りました。好きな食べ物、人に対する反応、嬉しいことや嫌なこと皆違うんだなと感じました。

私が担当したハナコは、最初はどうやって接していいかわかりませんでした。何が好きで、苦手が分からず、ハナコも私自身も戸惑っていました。ハナコと接していて嬉しかったことは、初めてコマンドができた時。特に印象に残っているのは「オテ」と「フセ」です。ハナコは脚先を触られることに抵抗があり、オテのしぐさは出来ても私が出した手に脚を触れる、乗せることができませんでした。でも時間を掛けて、少しずつ慣らし、今ではハナコからオテをしてくれるようになりました。

フセは犬にとって安心できる場所ではないので、なかなかできませんでした。今ではお腹を見せて撫でてとまでしてくれます。今ではハナコと接することが楽しくなりました。ハナコも尻尾を振ってくれるのでハナコも楽しんでくれていると思います。6月にハナコは一時預かり家庭に行きます。安心して過ごして欲しいと思います。

「自分の新たな一面を知り、今までとは違う物の見方が培われた」Kさん

人と犬、たくさんの出会いを通し様々なことが学べた一年でした。

また、活動する中で自分で気付けなかった自分自身の新たな一面を知ることができ、今までと違う物の見方が培われるなど得た物がたくさんあります。

時には自分のことや家族のことなど、悩むこともあり立ち止まってしまうこともありました。

そういった状況で一步踏み出す勇気を人から、犬からもらった気がします。

これから先、まだまだ多くの問題が山積みですが、少しずつでも変わらず歩み続けられればなと思います。

「卒業してもジョーとの思い出を胸に乗り越えていきたい」Nさん

ジョーとのお別れまでに何をやるのかという目標を定めて、3つあるテストのうち2つ目まで合格することができました。そしてついに、外の環境で他犬が近くにいながらコマンドを成功させるという段階に入っていきます。トレーニング中でも大きな犬にビビってコマンドどころでは無くなってしまったり、体格の近い犬では逆にジョーが遊びたくなくなってしまい、声が聞こえなくなってしまうというような状態でした。周りの人や犬たちに協力してもらいながらトレーニングを重ね、少しずつ犬がいる状況でもこちらのコマンドを聞いてくれるようになってきました。そしてテスト当日の本番では、シェパードという大きな犬が近くにいる状態でのテストになりました。このような状況は練習でもビビってしまいあまり上手くいかず、練習自体もあまり積ませてあげられなかったシチュエーションだったのですが、なんと今回も合格することが出来ました。ハンドラーの自分は緊張してしまっていてジョーもシェパードにビビってしまっていたにもかかわらず、こちらの声を必死に聴いてくれて従ってくれたおかげです。ジョー今までありがとう。

4月にジョーも自分もここキドックスを卒業します。ジョーは里親さんの元へトライアルに、自分は動物関係の仕事を目指し専門学校へ入学します。入学後や職に就いた後も辛い事や悲しい事がたくさんあると思いますが、ここでの経験と、ジョーやキドックスの皆との思い出を胸に乗り越えていきたいと思っています。今まで自分を含めキドックスを応援してくださりありがとうございます。これからもキドックスをよろしく願います。





キドックスのスタッフによる作文

2016年度の振り返りと今後の目標

ドッグプログラムに携わるスタッフより、昨年度の振り返りと今後の目標について述べます。

「それぞれの役割を全うし自分らしく生きていけるサポートを」

2016年度は、今までの学びや気付きや課題への対策を現場に落としながら実践を重ねた一年となりました。個人的には2016年度の初めから専門的な勉強を始め、そこで得た知識や学びをそのまま実践へ活かし活動することができました。それでも個人的な課題は多く引き続き学んでいかねばという思いですが、学びを深めたお陰で気付くことも多々ありました。

スタッフ全員がそれぞれの役割を全うし、一人一人の若者、一匹一匹の保護犬たちがその子らしくこれからの人生犬生を歩んでいけるようサポートするため、この一年でプログラムの中でも色んな変化がありました。プログラムの中では、スタッフ間での連携や共有を高めるための朝終礼の見直しや、成果進捗に対しての振り返りなどを導入し、犬と人お互いの安全管理の為の危機管理の徹底などを行いました。参加している若者たちと月に一回行っている面談の担当者が私へと変わったのは、若者たちや私にとっても大きい変化だったのではないかと思います。

また、新しくスタートしたプログラムもあり、自身の状態に合わせたプログラムの選択がしやすくなったことでステップアップの道順が分かりやすくなってきたのではないかと思います。

2017年度からは、新たなサービスを開始する予定で新しいスタッフも入り新体制でのスタートとなります。変化はありつつも、それぞれの役割をしっかり全うできるよう研鑽していきたいと思っています。

プログラム統括責任者 村本 知恵里

「正面から向き合うこと、課題に気付かせてくれたのは若者だった」

2016年度は目を向けないようにしていた自分の弱さや課題に気付かせてもらった一方、良さも認められるようになれた1年でした。

参加する若者は保護犬とのトレーニングを通して、自身の足りない点や良さと同じ向き合っていると思います。スタッフである私も一人の人間で、同じように若者へのトレーニングレクチャーや関わりを通して、自分の足りない点に直面したりします。特に私の場合。

若者たちの未来にとって必要な関わりは何かと頭で分かっている、それを行動に移す、出すのは簡単ではなく、やり切れた・・・とはできませんでした。

相手に合わせるだけでなく、正面から向き合うこと

その課題に気付かせてくれたのは、若者であり、指摘してくれたのはスタッフです。

個人的な課題であり、2017年だけ頑張れば良いということでもないですが、この課題を日頃意識しながら若者と向き合えたらなと考えています。

と共に、保護犬の譲渡の数と質をあげるためにも事業運営の継続的な安定を軌道に乗せられるよう2017年に向けて行きたいです。

ドッグトレーナー 里見 潤





キドックスのスタッフによる作文

「尊重の気持ち、姿勢を大切に若者にも保護犬にも関わっていく」

プログラム内容とスタッフ配置を大きく見直した2015年度。2016年度は更に中間的就労プログラムも取り入れ、プログラム内容の質も以前に比べ、更に向上出来た様に思います。スタッフそれぞれの自分の役割が明確になったことで、それぞれの立場から互いに意見をし、目先だけに捉われず、先を見据えての選択など、若者たち1人1人はもちろん、スタッフ同士も互いに向き合えた1年だったと感じます。

キドックスでのドッグトレーナーとしての私の役割は、若者たちが今、何につまづき、どう感じているのか？クリアすべきそれぞれの課題をドッグトレーニングに落とし込むことですが、その際の伝え方や言葉選び1つで間違った伝わり方をしてしまうこともあるので、とても神経を張ります。そんなプログラムの中で、私なりの今年度のキーワードがありました。それは、『姿勢』です。

スタッフに対してもそうですが、若者たちに対しても、犬たちに対しても、まずは、尊重の気持ちを忘れないこと。尊重の姿勢で関わること。その上で、だからこそ、伝えたいことは、伝える。

ドッグトレーナーとして、教えられることは幾らかあったとしても、1人の人間として、周りから教わることは、本当に沢山ありました。自分だけの目線に捉われず、多方面からの視野を持つこと。ここを頭に置くことで、思考が偏りがちな私は、本当に沢山の大切なことに気がつくことが出来ました。

2017年度は、更にここを活かせるように頑張りたいと思います。また、キドックスと、社会とを繋ぐ中間的なステップアップの難しさも大切に感じていますので、この課題もクリアしていけたらと思います。

まだまだ課題は多くありますが、2017年度は更にプログラムも充実してくると思いますので、スタッフ同士しっかりと連携をしつつ、自分の力を最大限に発揮できるよう、そして、それが若者たちと、犬たちのこの先の1歩に繋がるよう、精一杯頑張りたいと思います。

ドッグトレーナー 山田 有紀子





2016年度実績一覧

■イベント型活動

- 2016/5/8 譲渡会・土浦市霞ヶ浦総合公園『あおぞらまるしえ』
- 2016/5/21 キドックス交流・手作りソーセイイベント
- 2016/6/7 セラピードッグ訪問・つくば市プレミエール元気館様
- 2016/6/25 クリステル財団様主催「フォスター・アカデミー」
- 2016/9/27 セラピードッグ訪問・つくば市プレミエール元気館様
- 2016/10/18 セラピードッグ訪問・つくば市プレミエール元気館様
- 2016/11/3 キドックス交流会・燻製パーティ
- 2016/11/13 譲渡会・土浦市霞ヶ浦総合公園『あおぞらまるしえ』
- 2016/11/17 クリスマスリース講習会
- 2016/11/19 クリステル財団様主催「フォスター・アカデミー」
- 2016/11/22 セラピードッグ訪問・サンシャイン・ヴィラ つくば倶楽夢様
- 2016/12/27 キドックス交流会・筑波山登山
- 2017/2/14 バレンタイン生け花講習会
- 2017/3/4 つくばカピオ「手作り・雑貨&クラフトフェア」
- 2017/3/12 茨女vol.5 発刊記念イベント
- 2017/3/13 交流ブース出展「引きこもり・不登校者の支援の考え方」つくば保健所主催

■講演活動

- 2016/6/18 動物愛護団体capin 様の通常総会
- 2016/6/29 土浦市市議会議員竹内ひろし氏後援会「ひまわり会」様
- 2016/9/9 株式会社Nestle 様研修、リディラバ様主催、社会課題見学ツアー『捨てられた犬を取り巻く社会課題を知る。動物の命について考えるツアー』
- 2017/2/18 茨城県社会福祉士会県南ブロック定例会議
- 2017/2/18 Ridilover - Social Issue Conference アール・シック：社会を変える、繋がり
- 2017/2/25 フォスター・アカデミーin つくば
- 2017/3/18 クリステル財団様主催フォスターアカデミー「私たちが動物ボランティアをはじめた理由」

■相談員・事例検討会・地域連携会議

- 2016/7/30 不登校・ひきこもり・ニートに関する事例検討会
- 2016/11/19 ひきこもり合同相談会にて相談員を務める
- 2016/12/3 不登校・ひきこもり・ニートに関する事例検討会
- 2016/12/19 平成28年度茨城県つくば保健所・茨城県常総保健所ひきこもり相談支援地域連携会議
- 2017/1/26 ひきこもり合同相談会にて相談員を務める
- 2017/2/24 平成29年度土浦保健所 ひきこもり支援地域連携会議
- 2017/2/25 不登校・ひきこもり・ニートに関する事例検討会
- 2017/3/2 ひきこもり合同相談会にて相談員を務める

■助成金選出

- 2016/8/1 大好きいばらき地方創生応援事業の助成先に選出
- 2016/10/21 パルシステム茨城様助成事業報告会（当会は2015 選出）
- 2017/3/16 中央ろうきん若者応援ファンド2017 交流会（当会は2016 選出）

■メディア掲載

- 2016/7/2 常陽新聞に当会活動内容が掲載
- 2016/9/15 ビッグイシュー日本版に当会活動内容が掲載
- 2017/3/1 茨女フリーペーパーVol.5 に代表のインタビュー記事が掲載

■提携動物愛護団体

- NPO 法人 動物愛護を考える茨城県民ネットワーク CAPIN 様（茨城県）
- Dog Shelter 様（東京都）

■その他

- 2016/4/26 東京育成園様・目録贈呈式
- 2016/5/21 通常総会を実施
- 2016/9/16 キドックス書籍が販売開始。全国書店にて販売



2016年度ご寄付者様

- | | | | |
|---------|-----------------|---------|-------------------------|
| ☆4月7日 | 細谷様 | ☆12月11日 | 和間様 |
| ☆4月13日 | 渡辺様 | ☆12月15日 | 木村様 |
| ☆4月13日 | 飯岡様 | ☆12月19日 | 大槻様 |
| ☆4月20日 | 石原様 | ☆12月19日 | 吉澤様 |
| ☆4月21日 | 大槻様 | ☆12月21日 | 細谷様 |
| ☆5月9日 | 大槻様 | ☆12月22日 | 住之江競艇場 動物イベント
ご来場の皆様 |
| ☆5月20日 | 細谷様 | ☆1月1日 | 小林様 |
| ☆5月25日 | 白井様 | ☆1月6日 | 白井様 |
| ☆5月31日 | 飯岡様、山口様 | ☆1月13日 | 大槻様 |
| ☆6月6日 | 大槻様 | ☆2月16日 | 大槻様 |
| ☆6月7日 | 細川様 | ☆2月17日 | 飯岡様 |
| ☆6月14日 | 木村様 | ☆2月18日 | 社会福祉士会茨城県県南ブ
ロック様 |
| ☆6月16日 | 岡本様 | ☆2月18日 | 椎名様 |
| ☆7月5日 | 大槻様 | ☆3月4日 | 小神野様 |
| ☆7月5日 | 白井様 | ☆3月28日 | 西澤様 |
| ☆7月5日 | 河上様 | ☆3月29日 | 細谷様 |
| ☆7月26日 | 工藤様 | ☆3月29日 | 大槻様 |
| ☆7月26日 | 小西様 | ☆3月30日 | 佐治様 |
| ☆7月26日 | 細谷様 | | |
| ☆7月27日 | 白井様 | | |
| ☆8月2日 | 大槻様 | | |
| ☆8月24日 | 河上様 | | |
| ☆8月31日 | 大槻様 | | |
| ☆9月20日 | 工藤様 | | |
| ☆9月27日 | 公益財団法人日本動物愛護協会様 | | |
| ☆9月30日 | 細谷様 | | |
| ☆10月3日 | 大槻様 | | |
| ☆10月12日 | 小神野様 | | |
| ☆11月2日 | 細谷様 | | |
| ☆11月8日 | 大槻様 | | |
| ☆11月15日 | 犬愛&RUMKA様 | | |
| ☆11月23日 | 柴様 | | |



2017年3月31日現在 ファミリー会員として継続的にご寄付くださっている皆様

- | | | |
|--------|--------|--------|
| ☆ T.M様 | ☆ Y.S様 | ☆ T.Y様 |
| ☆ Y.Y様 | ☆ C.M様 | ☆ T.W様 |
| ☆ M.K様 | ☆ W.K様 | ☆ Y.F様 |
| ☆ M.I様 | ☆ C.I様 | ☆ E.M様 |

(※2017年3月31日以降にご寄付いただいた方は来年度の年報に掲載させていただきます)

皆様からの温かいご支援に、心より御礼申し上げます



団体概要

団体正式名：特定非営利活動法人キドックス（KIDOGS）
 法人設立日（登記日）：2012年9月20日
 団体設立：2011年8月
 スタッフ数：4名（2017年3月末現在）
 活動ボランティア数：約5名
 正会員数：10名

役員

代表理事 岡本琴美（旧姓：上山）
 理事 里見潤
 理事 山田有紀子
 理事 村本知恵里
 理事 佐治莉沙子
 監事 渡邊陽子



沿革

2010年12月 犬の殺処分問題や子どもを取り巻く社会問題について調査・研究を開始
 2011年8月 犬を介した子ども向けプログラムなどを様々な形式で行う
 2012年9月 NPO法人格を取得
 2013年3月 犬と若者の支援施設「キドックスファーム」を茨城県土浦市にて開所
 2013年5月 保護犬を介した青少年の自立支援プログラム開始（自立援助ホーム向け）
 2013年9月 若者就労支援プログラム開始（期間4ヶ月限定プログラム、一般向け）
 2014年1月 若者就労支援プログラム終了（期間4ヶ月限定プログラム、一般向け）
 2014年3月 保護犬を介した青少年の自立支援プログラム終了（自立援助ホーム向け）
 2014年4月 自立支援プログラム「いぬのいえ」、フリースクール「こいぬのおへや」
 保護犬カフェ「わんこみゅカフェ」開始
 2014年7月 フリースクール「こいぬのおへや」プログラム終了
 2015年12月 お手紙会員プログラムスタート
 2016年10月 中間的就労プログラム「イヌモク工房」開始、訪問プログラム開始
 2017年3月 「ゆるボラ」、ご家族への支援プログラム「クラフト」開始
 現在も茨城県土浦市にて活動中！



2016年度 提携動物保護団体様



動物愛護を考える
 茨城県民ネットワーク CAPiN様
<http://www.capinew.jp>

茨城県土浦市にて動物保護施設を運営し、
 動物と人が幸せに生きる社会を目指しています



Dog Shelter

WITH YOUR DOG, FOREVER.

Dog Shelter様
<http://dogshelter.jp>

東京都内の保健所から犬を保護し、犬達が温かな家庭で幸せに暮らせるように活動しています



2016年度会計報告

2016年度の会計全体のご報告です。

法人名： 特定非営利活動法人キッズプラス

活動計算書

2016年 4月 1日 - 2017年 3月 31日 まで

内 容	金 額	
1 経常収益		
1 受取金		
正会員受取金	0	
賛助会員受取金	0	0
2 受取寄付金		
受取寄付金	188,872	
ファミリー会員会費	479,005	667,877
3 受取助成金等		
受取民間助成金	100,000	
受取国庫補助金		100,000
4 事業収益		
イベント収益	154,000	
利用者会費	2,237,000	
チャリティグッズ	182,935	
雑収入	8,275	2,582,210
5 その他収益		
受取利息	202	
雑収益	48,740	49,202
経常収益計		3,587,390
2 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
人件費	1,852,000	
法定福利費	306,306	
福利厚生費	0	
研修手当	25,218	
人件費計	2,263,584	
(2) その他経費		
印刷製本費	42,572	
賃借料	37,300	
水道光熱費	79,887	
雑費	21,760	
雑損金	35,000	
旅費交通費	328,205	
消耗品費	812,709	
他代官費	140,800	
通信運搬費	74,085	
雑費		
備品費		
支払手数料	49,248	
損害賠償保険料	71,495	
立寄費		
会議費		
旅費	2,100	
その他経費計	1,820,062	3,914,446
事業費計		
2 管理費		
(1) 人件費		
人件費	0	
福利厚生費	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
雑費		
雑損金	38	
消耗品費	0	
支払手数料	0	
その他経費計	38	38
管理費計		
経常費用計		3,914,684
当年度繰上利益剰余金		-327,294
前年度繰上利益剰余金		2,327,685
次年度繰上利益剰余金		1,999,021



2016年度会計報告

2016年度の事業・助成金別のご報告です。
 総計の列が前ページの全体会計と同じ数値になっています。

法人名: 特定非営利活動法人ネオリンクス
 活動内容: 事業別
 平成28年4月1日 - 平成29年3月31日迄まで

科目	助成金又は助成費	NPO活動・啓蒙事業	経理改善強化	チャリティグッズ事業	助成金			その他	合計
					2016年4月1日 現在・ハードウェア・ソフトウェアも2016	2016年4月1日 現在・ハードウェア・ソフトウェアも2017	2017年4月1日 現在・ハードウェア・ソフトウェアも2018		
I 経費の内訳									
1. 経費の内訳									
正金請求助成費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補助金請求助成費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 活動経費									
奨励金付金	0	0	0	6,270	0	0	0	160,140	166,410
フリースピーチ活動費	679,000	0	0	0	0	0	0	0	679,000
3. 活動助成金等									
奨励金請求助成金	0	0	0	0	0	0	100,000	0	100,000
奨励金請求補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4. 事業経費									
イベント経費	19,000	127,000	0	0	0	0	0	6,000	152,000
利用費会費	2,027,000	0	0	0	0	0	0	0	2,027,000
チャリティグッズ	0	0	0	160,000	0	0	0	0	160,000
雑収入	6,270	0	0	0	0	0	0	0	6,270
5. その他経費									
手数料等	0	0	0	0	0	0	0	200	200
雑収入	1,100	0	0	0	0	1,940	0	47,100	49,140
経費の内訳計	2,848,000	127,000	0	166,270	0	1,940	100,000	208,100	3,351,210
II 経費の内訳									
1. 事業費									
(1) 人件費									
人件費	380,000	0	0	0	60,000	670,000	0	0	1,010,000
労務費	306,000	0	0	0	0	0	0	0	306,000
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研修手当	0	0	0	0	0	25,200	0	0	25,200
人件費計	1,086,000	0	0	0	60,000	1,065,200	0	0	2,211,200
(2) その他経費									
印刷費	26,700	0	0	0	61,000	0	0	0	87,700
賃借料	12,200	0	23,000	1,000	0	0	0	0	37,200
水道光熱費	79,000	0	0	0	0	0	0	0	79,000
雑費	3,000	3,000	3,000	10,000	0	0	0	0	21,000
雑損金	40,000	15,000	0	0	0	0	0	0	55,000
旅費交通費	101,000	6,400	0	0	0	1,940	0	0	109,340
印刷品費	204,000	0	0	177,000	2,670	0	140,000	0	423,670
雑代等費	240,000	0	0	0	0	0	0	0	240,000
通信運搬費	69,100	0	0	0	0	0	0	0	69,100
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払手数料	60,000	0	0	0	0	0	0	0	60,000
事業経費等除却費	71,400	0	0	0	0	0	0	0	71,400
広告宣伝費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旅費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他経費計	1,190,200	20,400	26,000	196,000	64,000	1,940	140,000	0	1,618,540
事業費計	2,276,200	20,400	26,000	196,200	64,000	1,940	140,000	0	2,615,140
2. 管理費									
(1) 人件費									
人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費									
雑損金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
印刷品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払手数料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他経費計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管理費計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経費の内訳計	2,276,200	20,400	26,000	196,200	64,000	1,940	140,000	0	2,615,140
当期正味増減額	571,210	160,000	-29,000	6,000	1,600,000	-1,900,210	-60,000	208,000	-100,000
前期繰越正味剰余額	1,673,200	102,000	-212,000	0	1,600,000	1,000,000	0	-102,000	2,361,200
当期繰越正味剰余額	1,202,000	262,000	-241,000	6,000	-	-1,200	-60,000	48,000	1,207,000



2016年度会計報告

法人名： 特定非営利活動法人キドックス

貸借対照表

29年 3月 31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	1,995,021	
流動資産合計		<u>1,995,021</u>
2. 固定資産		
固定資産合計		<u>0</u>
資産合計		<u>1,995,021</u>
II 負債の部		
1. 流動負債		
流動負債合計		<u>0</u>
2. 固定負債		
固定負債合計		<u>0</u>
負債合計		<u>0</u>
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		<u>2,323,925</u>
当期正味財産増減額		<u>-328,904</u>
正味財産合計		<u>1,995,021</u>
負債及び正味財産合計		<u>1,995,021</u>

法人名： 特定非営利活動法人キドックス

財産目録

29年 3月 31日現在

(単位：円)

科 目・摘 要	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
現金	84,480	
ゆうちょ銀行	1,910,541	
流動資産合計		<u>1,995,021</u>
2. 固定資産		
固定資産合計		<u>0</u>
資産合計		<u>1,995,021</u>
II 負債の部		
1. 流動負債		
流動負債合計		<u>0</u>
2. 固定負債		
固定負債合計		<u>0</u>
負債合計		<u>0</u>
正味財産		<u>1,995,021</u>

～ご支援のお願い～

キドックスの活動は、皆様の温かいご支援に支えられています。自立に悩む若者たちや、飼い主に捨てられてしまった犬たちの双方の社会復帰のために、皆様の温かいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



ファミリー会員になって支援する

キドックスの若者たち・保護犬たちを、温かく見守り、身近な存在として応援してくれる、ファミリー会員の方を募集しています。お申し込みはキドックスのHPにてお手続きをお願いいたします。

3つのプランがあります	 ファミリー会員 Dプラン 1,000円/月	様々な会員特典があります	D O G	会員特典
	 ファミリー会員 Oプラン 3,000円/月			会費返* 入会後1ヶ月以内に返還します。イベント参加時などにご持参いただけます。
	 ファミリー会員 Gプラン 10,000円/月			四季報* 年に4回四季報を作成しお送りします(春号、夏号、秋号、冬号を予定)
				年報* 1年に1回、年間の活動報告書を作成してお送りします(毎年5-6月頃を予定)
				二口ファーム員* キドックスファームの施設内にお名前や愛犬のお名前を掲示します。
				感謝の手紙* 定期的にご支援の感謝の手紙を書いてお送りします。
				お着てほしい品* 会員の方をお着てほしいための企画を実施します。年に数回ご案内状をお届けします。愛犬のわんちゃんも一緒に遊びに来てください。



寄付で支援する

寄付の方法は、銀行振込、クレジットカード、コンビニ払い、の3つからお選びいただけます。銀行振込の方は、下記金融機関宛にお手続きをお願い致します。その際は事務局 (info@kidogs.org) までご連絡をお願い致します。クレジットカード・コンビニ払いの方は、キドックスのHPからお手続きをお願いいたします。



物で支援する

活動に使用する様々な物品の募集をしております！
募藏品リストはキドックスのHPからご覧下さい。

振込口座

- ・銀行名 ゆうちよ銀行
- ・支店名 守谷久保ヶ丘支店
- ・店名 〇六八 (読み ゼロロクハチ)
- ・店番号 068
- ・口座番号 普通 4182270
- ・口座名義 特定非営利活動法人キドックス
- ・口座名義 (カタカナ) トクヒ) キドックス

特定非営利活動法人キドックス

〒300-4111 茨城県土浦市大畑1440

TEL: 070-5088-6436

MAIL: info@kidogs.org

HP: <http://www.kidogs.org>



特定非営利活動法人キドックス

〒300-4111 茨城県土浦市大畑1440

TEL: 070-5088-6436

MAIL: info@kidogs.org

HP: <http://www.kidogs.org>